

色麻町教育委員会の事務の管理及び執行状況
についての点検及び評価の結果報告書
(平成22年度実績)

平成23年11月

色 麻 町 教 育 委 員 会

I はじめに

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、平成22年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を聴取し報告するものです。

色麻町教育委員会は、毎年策定する教育基本方針に基づく具体的施策や重点事業等の実施状況について点検及び評価を行い、学識経験者の意見を聴取したうえで、課題や今後の改善方策を明らかにするとともに効率的かつ効果的な教育行政の推進を図ることとし、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表することにより、町民に対する説明責任を果たし町民に信頼される教育行政を推進するものです。

平成23年11月

色 麻 町 教 育 委 員 会

関係法令

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 実施概要

(1) 評価の対象

教育基本方針に基づく具体的施策や重点事業等の実施状況について点検及び評価を行いました。

(2) 対象期間

平成22年度（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

(3) 評価の観点

教育基本方針に示す具体的施策等について、成果と課題を明らかにした上で、次に示す5区分により達成度を評価しました。

⑤	大変満足
④	概ね満足
③	普通
②	やや不十分
①	不十分で改善必要

III 結果

(1) 評価等の結果

評 価	⑤ 大変満足	④ 概ね満足	③ 普 通	② やや不十分	① 不十分で改善必要
項目数	3 (1.9%)	105 (67.3%)	44 (28.2%)	4 (2.6%)	0 (0.0%)

(2) 公表の方法

町ホームページに掲載します。

色麻町の教育基本方針

色麻町の美しい自然の中で，すべての人々が支え合い，豊かな人間形成と生き生きしたふるさとづくりを目指し

- 確かな学びの力とやさしさ・たくましさを培う学校
- 学びとうるおい・絆のある家庭と地域社会
- 色麻の文化の創造と感動・活力のあるスポーツの展開

を重点に，本町の未来を展望しながら，町民の生涯にわたる学習の充実に努める。

Ⅳ 目 次

教育の重点

1	教育委員会運営事業	1
2	事務局運営事業	1
3	創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進	2
4	確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫	3
5	豊かな心で互いに認め合い高め合える人間関係の醸成	6
6	学校体育，保健・安全教育，食育指導の充実	8
7	夢や希望を持ち自らの生き方を主体的に考える進路指導と キャリア教育の推進	1 1
8	情報社会に適応できる情報教育の推進	1 2
9	個々の発達段階や特性等を考慮した特別支援教育の推進	1 3
1 0	各教科，道徳，特別活動等の時間との関連を図った指導計画の作成	1 4

1 1	教育課程を踏まえた創意と活力に満ちた園の経営	1 8
1 2	幼児の発達の特性を踏まえた特色ある教育課程の編成と実施・改善	1 8
1 3	個々の特性に応じた指導の充実	1 9
1 4	幼児期から児童期への発達段階を踏まえた幼・保・小の連携	2 0
1 5	家庭や地域・関係機関との緊密な連携	2 1
1 6	子育て支援と預かり保育の充実	2 1
1 7	教職員の研修の充実と実践的研究の奨励	2 2
1 8	教職員の服務規律遵守の徹底	2 3
1 9	教職員の健康管理と福利厚生への充実	2 4
2 0	学校環境の安全と整備・充実	2 4
2 1	施設・設備の開放の推進	2 5
2 2	教材・教具の整備・充実と活用の促進	2 5
2 3	生涯学習の推進	2 6
2 4	生涯各期の課題に応じた教室、講座等の充実	2 7
2 5	文化・芸術活動の振興	2 9
2 6	文化財保護体制の整備充実と活用の推進	3 0
2 7	生涯スポーツの推進	3 1
2 8	図書室・図書等の有効利用の推進	3 2
2 9	情報技術・視聴覚教育の充実と振興	3 3
3 0	奨学事業運営事業	3 3
3 1	児童生徒の通学確保に関する事業	3 4
3 2	幼稚園児の通園確保に関する事業	3 4

学識経験者による意見書

意見書	3 5
-----	-----

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策 推 進 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
1 教育委員会運営事業				
	(1)教育委員会委員活動の事務執行			
	①教育委員会の開催	毎月1回定例会を開催し、教育長から提案された議案を審議した。また、必要に応じて臨時会を開催し、教育行政の円滑な運営に努めた。 議案 35件 協議 6件 報告 2件	④ 概ね満足	会議資料の事前配布は議事進行、審議の深まりに効果的であった。提案された議案について慎重に審議を重ね、教育行政の円滑な運営に寄与できた。 また、小中一貫教育については、平成26年度開校を目指し、わが町に適した最良の教育を模索する。
	②学校訪問	年1回、11月に各学校を訪問し、教育委員会で定めた教育方針に添った学校経営や指導計画が実践されているか、校長から説明を受けるとともに、学習指導の状況、教育活動について意見交換を行った。	③ 普通	教育現場を直に視察しながら、校長や教務主任等からの説明を受けて、各学校の学習指導の状況、教育活動の実態、施設整備の現状を把握することができた。
2 事務局運営事業				
	(1)教育全般にわたる事務の適正な処理			
	①就学に関係すること	入学通知、転校、区域外就学の手続き。	③ 普通	適正かつ遺漏無く執行されている。また、区域外就学については、保護者の希望を最大限尊重し、結論を出している。
	②教科書、教材の取扱いに関係すること	教科書の無償給付に関する事務。	③ 普通	良好に執行されている。
	③教育関係職員の研修に関係すること	研修の案内及び希望者の取りまとめと申請。	③ 普通	小中一貫教育に向けて様々な研修に参加し、わが町独自の教育計画の作成に活かしていく必要がある。
	④学級編制に関係すること	職員の定数及び学級数に関する事務。	③ 普通	良好に執行されている。
	⑤教育に関する調査、統計に関係すること	学校基本調査及び地方教育調査の実施。	③ 普通	良好に執行されている。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 事 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
3 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進					
		(1) 地域から信頼される着実な学校経営			
		①教育目標の具現と良き校風づくりの推進	児童の実態、保護者・地域の願い等を把握し、学校課題を明確にした学校運営に努めた。(色) 校長のグランドデザイン、数値目標を設定したスクールプランを掲げ、全校及び各学年の段階に応じた目標達成のための実践をした。(中) <全校でめざす内容> ①基礎・基本の確立をめざす漢字習得「漢字マラソン」への取り組み 全校75%以上の合格 ②生徒全員のあいさつの励行 ③ボランティア活動への参加 <各学年での内容> 1年 学び方と学習基盤の確立 2年 文武両道 3年 毎日2時間以上の家庭学習の実施	④ 概ね満足	目指す児童像の具体的な姿を掲げて教育活動を展開してきたが、今後も継続的な取り組みが必要である。 生徒に対するアンケートから、数値は十分に満足できるものであったが、もう少し保護者に対してスクールプランを浸透させる必要がある。
		②地域とともに歩む開かれた学校づくりの推進	「地域に開かれた学校」を目指し、学校だよりの地区内配布を行うとともに、地域の方々に学校行事等への案内をした。(色) 総合的な学習の時間のテーマに「共生」を掲げ、色麻の自然・歴史・文化・産業等を素材に体験活動を行った。(清) 学校から地域への情報発信に努めるために、各行事の案内や中総体結果を有線放送で伝えるとともに各地区に学校だよりを配布した。(中)	④ 概ね満足	学校だよりの地区内全戸配布を通し、情報の発信はできているが、さらに、多くの地域の方々に来校してもらえる工夫が必要である。 「共生」のテーマのもと、1年生から地域との交流・体験活動等の積み上げが図られている。 文化祭をはじめとした学校行事への地域の方々の参加の多さからも学校が地域にとって身近な存在となっていることがわかる。今後もこうした取り組みを継続していく必要がある。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
(2) 創意と工夫に満ちた教育課程の編成と実施					
		①新学習指導要領に基づいた創意のある教育課程の編成と実施	新学習指導要領全面実施に向けて計画的に教育課程の編成を行った。また、学期毎に学校評価を行い、その都度の反省は次の学期に生かした。(色) 新学習指導要領の趣旨を十分に踏まえた教育課程を編成した。(清) PDCAサイクルに基づき、学校評価(職員による自己評価)、学校関係者評価を実施した。また、教職員による検討会や保護者からの意見を集約し、課題の検証を行った。(中)	④ 概ね満足	教科時数の増加など教育課程は計画的に実施できている。また、学期毎に学校評価を行い、次年度の計画にも生かされている。 新学習指導要領に準拠した各教育活動の取組みが行われており、幼稚園との接続を考慮したスタートカリキュラムも実践されている。今後は、小中一貫校開始を見据え、中学校との連携もさらに深めてもらいたい。また、総合的な学習の時間等の系統性を図るための準備を開始する必要がある。 小中一貫校のスタートに合わせて計画的に独創的な教育課程の編成に取り組んでいかなければならない。
		②学校支援ボランティアや地域人材・施設等の整備・活用	2年は歯科校医、5年は内科校医による授業、3・4年は花植え、5年は稲作体験学習において地域のボランティアの方々にご指導いただいた。(色) 学校支援ボランティアを活用した地域の教育力を生かした豊かな体験活動。(清) 保健体育や音楽への外部講師の活用。(中)	④ 概ね満足	授業は専門医の話で充実した内容になった。花植えも稲作も素晴らしい体験活動であった。 学校支援ボランティアなどには様々な面から支えていただいております大変感謝している。 専門分野におけるボランティアの活用はたいへん有効であり、学習効果を上げることができた。
4 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫					
(1) 教職員の研修の充実と教科等指導力の向上					
		①専門職としての資質と指導力の向上を目指した校内研修体制の確立	研究推進委員会の主導のもと、各学年部を中心に研究を進め、特に「研究授業」は全校で見合うようにした。(色) 新学習指導要領の全面実施や小中一貫教育に向けた先進校視察・各研修会等へも積極的に参加し、研修を深めた。また、教師の授業力向上のために全員が研究授業を行った。(清) 教師としての資質向上のために、月例の研修会を設定し、校内研修を実施した。(中)	③ 普通	各学年部で計画的に研究授業に取り組み、互いに授業を見合うことができた。また、徐々にではあるが、教員の授業づくりにかける意識が高まってきている。さらなる教師の授業力向上のため、授業研究会等を通し、今後も尚一層研修の充実を図ってもらいたい。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重点 施策	推進 事項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		②自校の課題の共通理解と解決に向けた研究主題の設定	「確かな読みの力を身に付け、自分の考えを豊かに表現する児童の育成」と研究主題を設定し、授業力向上に努めた。(色) 「確かな読み取りから、考えや思いを深め合う児童の育成」、副題として一書く活動と話し合いや練り合いを関連させた展開を通して一と設定し、確かに分かるよい授業づくりを目指した。(清) 確かな学力の定着を図るために、適切な課題を掲げ校内研究に取り組んだ。また、各学力検査や教師による生徒の学びのみとりから、常に生徒の実態を把握し、日々の授業の改善に努めた。(中)	③ 普通	国語科の授業づくりに視点を置き、授業力向上に努めてきた。今後も児童生徒の実態及び研究の進捗状況を踏まえつつ、研究主題や副題、仮説を修正しながら、各学年の発達段階を意識した授業づくりをさらに望む。
		③学習意欲並びに理解力向上に向けた研修の計画的推進	日々の実践の中で問題を解決し、教師としての力量を高めるために、教材研究、授業実践、実技研修を計画的に実践するため毎週水曜日を研修日に設定した。(色) 全員が研究授業に取り組み、事前の模擬授業と事後の検討会を設定し授業力の向上を目指した。(清) 教師の授業力向上のための研修の充実とともに、生徒による授業評価(授業満足度)を実施した。(中)	④ 概ね満足	研修日を設定したことで教員の意識が高まった。今後も継続し、内容を深めていく必要がある。 実力テストをはじめとした数値的な学力は、確実に向上してきている。また、授業評価での数値も概ね満足できる結果となっており、今後も取り組みの継続を希望する。
(2) 発達段階と学習内容に応じた指導と評価の工夫					
		①少人数・習熟度別指導等効果的な指導形態による個を生かす指導法の充実	3・4年生の算数科において少人数指導やTT指導を行い、指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図った。(色) 算数科を中心に、TTや少人数の指導体制を整備し、学力向上を目指した。(清) 数学では、全学年で年間を通してTT指導を実施した。また、英語でも3年生では全時間、TT指導を実施した。(中)	④ 概ね満足	基礎学力の定着には有効な指導方法であった。今後も指導形態の工夫に努めてもらいたい。 重要単位については、少人数やTTなど指導体制を工夫していくことが大切である。 TT指導、少人数指導は、基礎学力定着を主とした学力向上に非常に有効である。今後は、更に、教科担任の連携・役割分担等効果的なTT指導のあり方を模索していく必要がある。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
(3) 児童・生徒の学習習慣の形成					
		①家庭と連携した生活リズムの見直しと改善	「よいすいみん よいめざめ そして朝ごはん」運動の啓蒙・推進に努めた。(色)	④ 概ね満足	学校だよりや保護者会等で啓蒙を図ったが、さらにスケジュール表等を活用し推進に努めてもらいたい。
		②シラバスの活用	年度当初に、シラバスを作成・配布することで、生徒に年間の学習の学びの見通しを持たせ、主体的な学びを促すよう工夫した。(中)	④ 概ね満足	シラバスをさらに活用しながら、その内容をよりよいものとするよう検討していく必要がある。
		③保護者への啓発	学年PTAや地区懇談会を中心に、家庭学習習慣の確立を図るよう、保護者へ協力を要請した。(中)	③ 普通	学校関係者評価(保護者対象)の結果から、まだまだ学習習慣が定着していない実態が浮き彫りになった。今後は、各教科間で連携しながら、効果的な宿題等について検討していく必要がある。
		④自主的な家庭学習習慣形成に向けた働きかけの工夫	「家庭学習の約束」「家庭学習の手引き」「国・算シラバス」を配布し、活用を図った。(色)	④ 概ね満足	家庭学習習慣化の方向は示すことができた。さらに活用できるよう支援していく必要がある。
(4) 教育環境の整備・充実					
		①清掃活動の充実	養護教諭を中心に、校舎内を日々点検し、清掃の不十分な箇所を確認した。(全)	④ 概ね満足	常日頃から、清掃への意識を高めており、校舎内外のよき環境づくりに努めている。
		②愛校作業	学期に1回、愛校作業と称する清掃活動を位置付け、勤労の意識を高めるとともに、校舎内の美化活動を行った。(中)	⑤ 大変満足	今後も活動を継続し、校舎内の美化活動に努めてもらいたい。
		③コンピュータ、視聴覚機器等の活用と工夫	総合的な学習の時間ではコンピュータ、各教科・領域では視聴覚機器を活用した授業を行った。(色)	④ 概ね満足	コンピュータや視聴覚機器を使った授業は、どの学年も意欲的であり、今後も効率的な活用をしてもらいたい。
		④校内施設設備の改善や修繕	危険箇所は修繕したり、必要な施設設備は年度計画に則って更新を行った。(全)	④ 概ね満足	今後も継続して実施してほしい。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 事 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		⑤月例の安全点検	月初めに、校舎内の安全点検を欠かさずに行った。 (全)	④ 概ね満足	今後も継続して実施してほしい。
5 豊かな心で互いに認め合い高め合える人間関係の醸成					
(1)豊かな心をはぐくむ道德教育の推進					
		①道德的実践力を養う体験的な活動の充実	学校の教育全体を通じて道德的な心情・判断力、実践意欲と態度などの道德性を養うとともに道德の時間の確保と体験的な活動の充実に努めた。(色) 道德年間指導計画の見直しを図り、実態に応じた全体計画を作成した。(清) 道德教育は、学校のあらゆる教育活動で行われていることを教職員間で再確認してきた。教職員の言葉遣いや所作等が生徒の手本となっていることを職員会議で話題とした。また、道德の時間の確保に努めるとともに、道德の授業では、ただ資料の読み取りで終えることのないように視聴覚機器を活用するなど工夫した。(中)	④ 概ね満足	道德の時間の確保については目標達成に至ったので、今後は体験的な活動の充実に努めてもらいたい。 各教科指導や学校行事など教育活動のすべてに道德的価値の関連を図り、年間指導計画に盛り込んでいる。さらに道德の時間の授業づくりについて研修を深めてもらいたい。 今後も教育活動全般が、道德であることを教職員間で周知徹底し、職員自らが自らを律する雰囲気づくりに努めていくとともに、道德の授業を充実するよう研修を深めていく必要がある。
		②家庭や地域社会との連携による道德教育の推進	道德の時間の内容や児童の感想・考えなどを学級だよりや学校だよりで、情報の発信を行った。(色) 「心のノート」を朝や帰りの会などにも活用し、日常化とともに家庭との連携を図った。(清) 道德の時間では、道德教育推進教師の指導計画のもと、充実を図り、価値項目を網羅し、学校の実態に応じた授業を作ってきた。また、各教科等・総合的な学習の時間・特別活動・生徒指導、学校行事、PTAによるあいさつ運動を通して道德性を育む指導をした。(中)	④ 概ね満足	子どもや家庭から反応があったり、学級懇談会で話題になったり情報発信は有効であった。 各学校行事及びPTA活動と道德との関連を図っていくこと。また、道德の標準時数は確保しているが、授業内容の充実をさらに図っていく必要がある。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重点 施策	推進 事項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		(2) 望ましい人間関係づくりを目指す生徒指導の充実			
		①基本的な生活習慣の確立と積極的な生徒指導の推進	日常、情報を伝え合い実態を把握するとともに重要な事柄は、打合せや職員会議で確認した。(色) 生徒指導主任を核とした校内体制を生かし、全職員での情報共有と迅速で適切な対応ができるようにした。(清) 「凡事徹底」を合い言葉に、職員・生徒が日々の生活を送ることができた。生徒最優先の学校をめざし、生徒の善行を褒めるための「章」を設定し、善行を奨励した。(中)	④ 概ね満足	情報の共有により、共通理解が深まり、基本的な生活習慣が身に着きつつある。 月1回の生徒指導・特別支援会議を定例化したり、打合せや職員室での日常的な会話から児童理解を図ることができている。 今後も受賞する生徒が増えるよう、日々の積極的な生徒指導を期待する。
		②家庭や地域社会、関係機関等との緊密な連携による生徒指導の充実	学校だよりや各種通信で校内の取り組みを情報発信するとともに民生児童委員や区長との情報交換の場を大切にした。(色) 家庭や地域、保健福祉センターとの連携を図り、児童理解を深めた。(清) 打合せや、定例の生徒指導会議を開催し、生活目標の達成具合や生徒指導上の事案を報告し合って、生徒理解に努め、生徒の自己理解と個性の伸長の支援に向けて、共通理解のもと取り組んだ。問題行動が発生した際には、生徒指導主事が情報のまとめ役となり、家庭及び関係機関の協力を得ながら、迅速かつ適切な対応を行った。(中)	④ 概ね満足	民生児童委員やウォーキングパトロール隊との情報交換の場をさらに充実させ、さらなる体制づくりに努めてもらいたい。 学期ごとに「かさまつっこを語る会」を開催し、児童理解と情報の共有の場を設置した。(メンバー:PTA, 民生委員や保健師, スポーツ少年団の会長, しかまつこ担当者等と教職員) 学年間の風通しを一段とよくし、共通理解を図りながら問題行動の解決に適切に対処して行くといった指導体制の充実に努めてもらいたい。
		③児童生徒個々の存在を高め、正しく生きる自己指導能力の育成	基本的な生活習慣や廊下歩行、正しい言葉遣いなどについて、学級活動と関連づけて指導し、実践的な態度を育てた。(色) 学級の問題や生活についての課題を自分たちで考え、行動させるようにした。全職員が情報を共有化させて指導に当たるようにした。(清) 生徒をよく観察し、悩みや困っていることがあるような場合は積極的に話しかけたり相談に応じたりした。カウンセラーとの相談も奨励していく。(中)	④ 概ね満足	廊下を疾走する児童も徐々に減り、適切な言葉遣いを心がける児童が増えてきている。 新学習指導要領に基づき、学級活動指導計画を全面的に改訂した。今後は、実態に即した実践を展開する必要がある。 日常的にきめ細かな観察を通して、悩みや困っている様子を事前に察知し、初期の段階で対応できるように努めてもらいたい。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重点 施策	推進 事項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		(3) 望ましい集団づくりを目指す特別活動の推進			
		① 望ましい集団づくりのための自主的・実践的な活動の充実	学校行事や委員会活動、クラブ活動などの体験的な活動を推進し、望ましい集団づくりに努めた。(色) 日常的な朝や帰りの会の時間を活用し、話し合いの時間の充実を図った。(清) 学校をよりよくしていこうとする生徒の自主的な活動を支援するとともに、年度当初に、生徒会の提案により「いじめ撲滅宣言」を生徒個々が宣誓する活動を行っており、生徒の心の自浄作用を高めるような活動を行った。(中)	④ 概ね満足	児童は諸活動に意欲的に取り組んだ。今後は教師による工夫した指導助言や働きかけが必要である。 学級活動の話し合い活動を充実させることが今後も必要である。 今後も生徒の自主的な活動を支援し、生徒会活動を活発化を図り、あいさつ運動やいじめ撲滅運動等、生徒の自発的な行動を促していく必要がある。
6 学校体育、保健・安全教育、食育指導の充実					
		(1) 運動に親しみ、体力の向上と運動を楽しむ態度を育成する指導の充実			
		① 心身の発達段階を踏まえた体力・運動能力の向上を図る指導の充実	業前、業間、昼休み等外遊びを奨励したり、校内持久走大会を通じ、強健な身体の育成と体力の向上を図った。(色) 朝や業間のマラソン。朝、業間、昼休みのなわとび。体力づくりの一貫として、走力向上に継続的に取り組んだ成果を競い合わせ、成就感を味わわせた。(清) 保体の授業では、運動の楽しさを体験させることや保健での健康増進の授業を通して、生涯に亘るその必要性を指導した。(中)	④ 概ね満足	休憩時間の遊びを通じ、持久力の向上に努めた様である。 音楽にあわせて自主的に5分間程度自分のペースで毎朝校庭を走らせており、着実な体力の向上につながっているので継続に向けた働きかけや励ましが必要である。 保体の授業では、各種競技を取り入れながら、運動の楽しさを体感させ、その必要性を指導することができている。ただ、個人の運動量差が大きく、生徒一人一人の運動能力の向上を図るよう、工夫する必要がある。
		② 日常的な体育的活動による体力・運動能力の向上	年間指導計画に基づき運動の楽しさを味わわせる指導を行った。また、個人差を重視し児童が自発的に運動に取り組むよう努めた。(色) 運動の楽しさを体験させながら、自分から進んで運動しようとする意欲を育てた。(清) 部活動に積極的に参加するよう奨励するとともに、郡中総体、2郡陸上大会ばかりではなく、部活動単位で行われる諸大会に積極的に参加した。(中)	④ 概ね満足	授業はもちろん業前、業間、昼休み等も自発的に運動する児童が増えているので、これからも奨励していきたい。 運動の特性に応じた自己課題の解決を目指した活動の工夫が大切である。 部活動や各種大会への参加は大いに奨励したいが、各部顧問の負担や選手輸送、大会参加費等の課題の解決が必要である。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		③進んで運動に親しむ態度の育成	郡陸上大会や大崎陸上大会等への積極的な参加を促し、高学年を中心に計画的、継続的な練習の積み上げを図った。(色) 運動をする意義やその必要性を保体の授業のみならず、各部活動顧問からも働きかけを行った。(中)	④ 概ね満足	自主的に参加した児童は好成績を残している。今後は、より多くの児童が大会に興味・関心を持ち、参加することを望む。 多くの生徒は、運動を好み楽しんでいる様子がうかがえるが、運動を好まない生徒への対応を検討する必要がある。
(2)健康で安全な生活を送るための保健・安全教育の充実					
		①家庭や地域社会と連携した交通安全及び不審者対策等の指導の徹底	登下校時の交通安全や不審者対策として、職員やPTAによる定期・不定期的な街頭指導やあいさつ運動を行った。また、交通ルールの指導徹底を図った。(色)(清) 春と秋の交通安全運動期間中の登校時間帯に街頭指導を行うとともに、集会時には交通安全に対する意識や不審者への対応について講話を行った。(中)	④ 概ね満足	職員もPTAも街頭指導やあいさつ運動が定着しているので、今後も継続してもらいたい。 毎月1・15日に校門等において、教職員が街頭指導を実施しているが、ウォーキングパトロール隊にも協力を呼びかけてほしい。 ヘルメットをかぶらない生徒も見受けられる。地域の方々から自転車の乗り方等についての指摘もあり、より一層交通安全意識を高めて行く必要がある。
		②心身の発達段階に応じた保健・安全指導の充実	校医や専門職らの出前講座を開催し、保健・安全指導の充実に努めた。(色) 校医や保健福祉センター、給食センターなど関係機関との連携を図り、指導を仰ぎながら児童の心身の健康増進を図った。(清) 校医等を活用し、健康的な生活に必要な基本的事項を実践する習慣を確立させるよう支援した。(中)	④ 概ね満足	6年「薬物乱用防止」2年「歯の健康」5年「心と体の健康」等の出前講座を今後も継続して実施してもらいたい。また、保護者へも直接働き掛ける手だてが必要である。 生徒の健康に関する意識の高まりが見られるので、今後もこうした取り組みを継続していく必要がある。
		③保健や安全に関する自己管理能力の育成	年3回の身体計測を実施し肥満児童等の個別指導に生かした。また、健康相談は日常的に呼びかけを随時行った。(色) 学期ごとに身体計測等を実施し、子どもたちに結果を知らせ、自分の体の成長や健康に対して意識付けを図った。(清) 定期健康診断、身体計測結果を生徒及び保護者に伝え、問題がある場合にはその改善策を個別的に指導した。(中)	④ 概ね満足	個別指導や声がけも随時行うことができているので、これからも継続して行ってもらいたい。 学校での取り組みのみならず、家庭でのテレビやゲームの視聴時間等の生活習慣の改善について、保護者の啓発に努める必要がある。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重点 施策	推進 事項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		(3)食生活に関する正しい知識と望ましい食習慣形成を図る食育指導の充実			
		①栄養教諭等による給食指導及び発達段階に応じた食育指導の実践と改善	年間指導計画に基づき給食センターの栄養士による学級指導を実施した。(色) 全学級の給食時間に栄養士が訪問し、食に関する指導を実施した。(清) 食材やその時季に応じた話題を給食だよりや昼の校内放送で生徒に伝え、食に関する意識を高めた。(中) 給食指導の時間に色麻小学校・清水小学校・清水幼稚園の全クラスを訪問し、食に関する指導を行った。(給)	④ 概ね満足	年間計画に基づき学級指導が実践できているので、今後も継続と内容の充実を目指してほしい。 地場産品を取り入れた料理や、色麻町に古くから伝わる料理等の紹介があり、食に関しての意識を高めることができた。今後も活動を継続してほしい。 給食を作る側と園児・児童との数少ない交流の場であり、給食センターに戻ってきた残食だけではわからない実態を把握することができているので、今後も継続してほしい。また、指導を行った日だけではなく、その後の学級での指導も必要である。
		②家庭や地域社会との連携による、望ましい食習慣形成と生活習慣病予防指導等の工夫	「よいすいみん よいめざめ そして朝ごはん」運動の一貫として、食生活への啓発を図った。(色) 全学級に配布されている、集献立表や盛り付け図等を活用し、食に関する指導充実を図った。(清) 自分でつくる弁当の日を年3回設定し、自分で弁当をつくることで、栄養のバランスや弁当をつくることのたいへんさを理解させた。(中)	④ 概ね満足	正しい生活習慣と食生活への関心が高まりつつあるので、定期的な調査が必要である。今後も家庭との連携を深めながら、どのように継続した取り組みを行って行くか課題である。 家族への感謝や栄養のバランスについて考えさせることができた。今後も活動を継続していく必要がある。
		③食事を通した望ましい人間関係をはぐくむ指導の充実	生産者や調理員への感謝の気持ちを持たせるよう手紙を書いたり、学校に招いて感謝の集会を行った。(色) 給食時にグループで準備したり、一緒に食事することによってよき人間関係づくりの活動の一つになるようにした。(中)	④ 概ね満足	生産者や調理員へ感謝の手紙が寄せられ、業務の励みになっている。 給食時の準備等を協力して行うことで、よき人間関係づくりの要因となっており、この取り組みはとても重要であると考え。
		④生きた教材としての学校給食	学校給食法の学校給食実施基準・学校給食衛生管理基準に基づいた学校給食を提供するように努めた。(給) 色麻町内の食材を最優先に使用し、宮城県産、国産の順に選択し、できるだけ素材がわかる手作りの給食を目指した。(給)	③ 普通	献立の作成ではすべての栄養素が基準を満たせるような献立の工夫を行い、調理ではより安全に効率的に作業ができるよう日々見直しを繰り返し行っている。 地場産食材の活用についても、旬の食材をできるだけ多く活用できるような献立作成、調理の手間を惜しまない姿勢が心がけられている。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 事 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		⑤給食だよりの発行	学校給食の月目標や季節に合わせたテーマの情報提供を行った。毎回、給食のレシピを掲載した。(給)	④ 概ね満足	地場産品を取り入れた料理や、色麻町に古くから伝わる料理等の紹介があり、食に関しての意識を高めるために一役買っている。
		⑥全国学校給食週間	全国学校給食週間(1月)の行事の一環として、色麻町産、宮城県産の旬の食材を活用した献立を実施した。くわしい解説を全クラスに配布し、給食時間の放送にも活用した。(給) 清水小学校給食委員会の児童が全校学校給食集会の準備のため、午前の調理中に給食センター見学を実施した。(給) 色麻小学校・清水小学校において全校学校給食集会が行われ、町内の生産者の方々や給食センター職員への感謝の会や給食ができるまでの様子の紹介が行われた。また、清水小学校においては調理員との給食会食会が行われた。(給)	③ 普通	給食ができるまでの様子を写真で紹介することで給食センターの仕事の一環を知らせることができた。また、直接調理員の話聞くことにより、児童にとって給食がより身近なものになっている。
7 夢や希望を持ち自らの生き方を主体的に考える進路指導とキャリア教育の推進					
		①自他のよさや個性に気付かせ伸ばす指導の工夫	稲作学習や栽培活動など体験活動や学校行事、校外学習を通し、自己有用感の育成に努めた。(色) 志津川宿泊学習、職場体験学習を実施し、自分のよさや仲間のよさを知る機会をつくった。(中)	④ 概ね満足	それぞれの体験活動は有効であり、さらに内容を充実させてほしい。 友人と協力し活動することで、自分の役割を果たしたことの達成感を味わうとともに仲間のよさを発見することができる有意義な活動となっている。
		②将来の夢や希望を持ち実現を目指す態度の育成	将来の夢や希望について学級活動や校外学習、学校行事等を通して学び、将来の自分の生活や職業について考えさせた。(色) 職場体験学習、立志式等の行事を通して将来の自分の姿や職業について考えさせる機会をつくった。(中)	④ 概ね満足	将来の夢や希望に向かって、努力し続ける姿勢を身に付ける児童生徒を育てるのにより行事である。また、宮城県が推進する志教育の理念にも合致しており、たいへん有意義な行事である。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 事 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		③働く喜びや勤労の尊さを理解させる啓発的体験活動の充実	勤労体験活動や係活動、清掃活動、家庭での手伝いの推進を図った。(色) 農業体験や介護体験などとおして、地域の実態や将来のまちづくりをとらえさせた。(清) 各学年の発達段階ごとに農業体験や職場見学などを系統的に実践した。(清) 修学旅行での職場訪問や職場体験学習をはじめ、校内では、花植えや清掃等にボランティアで参加することを奨励した。(中)	④ 概ね満足	どの児童も係活動や清掃活動に熱心に取り組んだ。今後も学校支援ボランティア等を活用し、継続して取り組んでいくことが大切である。また、家庭での手伝い調査なども行っていくとよいのではないかな。 職場体験学習での活動はもちろん、ボランティア活動への生徒の参加者数からも生徒に勤労意識が高まっていることがうかがえる。今後も継続して活動を行っていく必要がある。
		④小・中・高等学校や家庭・地域社会との連携によるキャリア教育の推進	進路指導室を整備し、上級学校や就職に関する資料の収集、整理、活用に努めた。また、高校に進学した卒業生から高校生活について話しを聞く会を設定した。(中)	③ 普通	進路指導室の整備といったハード面はもちろん、キャリア教育に関する指導計画の作成に努めなければならない。
8 情報社会に適応できる情報教育の推進					
		①情報教育推進のための校内体制及び周辺機器等の整備・充実	各教科や総合的な学習の時間の指導計画に従って、情報モラルやリテラシーの育成に努めた。(色) (清) 校内情報PCプロジェクトチームを立ち上げ、情報教育に関してコーディネートした。(中)	③ 普通	情報教育主任や学級担任を中心に情報教育推進に努めている。さらに情報モラルやリテラシーの育成を目指す必要がある。また、各教科や総合的な学習の時間の年間指導計画を見直す必要もあるのではないかな。 プロジェクトチームによるコーディネートが十分ではないので、組織を改編する等の改善が必要である。
		②各教科等の特色に応じた情報活動能力の育成	TT指導や学年合同などの指導体制を工夫し、教育効果を上げるように努めた。(色) 学級担任と情報委員会との連携を密にして、指導体制を工夫した。(清) 技術科の授業で、ICT能力の向上を図った。(中)	④ 概ね満足	情報教育主任を中心に各学年部協力して指導することができているので、今後も継続して取り組むことが大切である。 技術の授業を通して、PC活用の基礎を身に付けさせることはできている、生徒個々の能力に応じてより高度な技能を習得させるための工夫を検討しなければならない。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 事 業	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		③デジタルコンテンツの活用に向けた整理とセキュリティの確保	コンピュータ等のハードとソフトウェアの充実を図り、使い勝手のよい環境整備・管理に努めた。(色) 通信票作成, 生徒名簿, 成績処理についてはホストPCでのデータベース化を行った。(中)	③ 普通	環境は整ってきているので、情報機器活用についての研修を深めてほしい。 データベース化が確実に進んでおり、今後も継続して整備・管理を行う必要がある。
		④ネットワーク環境の整備とセキュリティの確保	新設のパソコンや電子黒板等の活用について研修を行い、職員の技能の向上を図った。(色) コンピュータ等のハードとソフトウェアの充実を図り、使い勝手のよい環境整備・管理に努めた。(清) 個人情報流失しないよう、情報管理規定の策定、個人情報を職員が使用するPCには保存しないよう共通理解を図った。(中)	③ 普通	研修会の実施を通し、職員の技能が向上した。今後も工夫し、技能の向上を図っていただきたい。今後さらにメンテナンスやセキュリティの確保に努めていく必要がある。また、個人情報の管理は特に細心の注意を図る必要がある。
9 個々の発達段階や特性等を考慮した特別支援教育の推進					
		①校内(特別)支援教育委員会及び就学指導委員会等の組織編成と活動の充実	特別支援コーディネーターを中心に校内研修を推進し、校内支援委員会や就学指導委員会の活動の充実を図った。(色) 月1回の特別支援会議を有効に活用し、支援を要する児童についての理解を深めた。(清) 特別支援教育コーディネーターを中心に、個別の指導計画及び支援計画を作成し、全職員で共通理解のもと指導にあたった。(中)	④ 概ね満足	コーディネーターを中心に校内支援委員会や就学指導委員会の充実した活動が行われている。 個別の指導計画や支援計画を十分に活用して、全職員で共通理解のもと指導にあたっている。 定例の職員会議では、特別支援教育関係の情報交換がなされ、職員が共通理解を図りながら指導にあたっている。
		②関係機関との連携による校内研修及び支援体制の充実	教育委員会や他の専門機関と連携を図りながら指導にあたった。(色) 学習支援室システム整備事業の成果を生かす、特別な支援を要する児童への適切な支援を組織的に行うとともに、特別支援教育に関する研修会を実施し、資質向上を図った。(清) 特に配慮を要する生徒への支援のあり方や検査について、特別支援学校等関係機関と連携を図った。(中)	④ 概ね満足	他の専門機関と連携した指導ができている。今後も継続して連携を図ってもらいたい。 学習支援室システムの機能を有効に活用し、普通学級の中で対象となる児童への支援を行うことができている。 特別支援学校職員からの協力を得ながら、生徒への支援や検査を行うことができている。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 事 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		③適切な個別指導計画の作成と積極的な活用	「あたごの子支援委員会」を開催し、支援の必要な児童の個別計画を作成し、指導の手立てにした。(色) 生徒の実態に応じた個別の指導計画を作成し、職員の共通理解を図りながら指導・支援にあたった。(中)	③ 普通	個別計画を作成し、共通理解を図りながら指導にあたり、かなり効果をあげている。 特別支援学級に所属する生徒の指導計画は作成済みであるが、通常学級に所属する「特に配慮を要する生徒」に対しても指導計画を作成し、指導・支援にあたなければならない。
10 各教科、道徳、特別活動等の時間との関連を図った指導計画の作成					
(1)世界の中の日本についての認識と国際理解教育の推進					
		①日本並びに地域の文化と伝統に対する関心や理解を高める指導の推進	日本の伝統文化を教材に取り入れ、関心や理解を高めるよう努めた。(色) 家族・郷土・国を愛する態度を育てるとともに国際社会の中で生きていく力を身につけさせるよう指導した。(清) 各教科の学習を通して地域及び日本の伝統文化についての関心を高めた。(中)	③ 普通	凧づくりやエゴマ栽培に取り組んでおり、今後も地域素材の教材化に取り組んでもらいたい。 外国語活動では、ALTとの交流を通して体験的な活動に取り組んでいる。 授業時数の問題もあり、地域の伝統や文化を扱う学習は十分とは言えないが、今後、総合的な学習の時間の活用や色麻学部会からの提案に期待する。
		②外国語指導助手(ALT)や外国人の積極的な活用と異文化理解教育の推進	外国語活動としてALTと5・6年生は年間35時間、1～4年生は年間6時間の英語活動を行った。(色) ALTとの交流から、日本の文化や習慣との違いに気づき、国際理解教育を推進した。(清) ALT活用を通して、言語のみではなく異国文化にふれることで広い視野をもつ人間形成の一助とした。(中)	③ 普通	特に高学年はALTを効果的に活用している。さらにALTの積極的な活用を努めてほしい。 各教科との関連を意識して、すべての教科で国際理解教育の視点を意識する必要がある。 ALTの活用ばかりではなく、国際理解に関する廊下掲示等を工夫したが、さらに改善の余地がある。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 事 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
(2) 人と自然の望ましい在り方について考えさせる環境教育の推進					
	①地域や自然や環境に関する体験活動とおした環境保全や環境モラルの育成	計画菜園では各学年が枝豆、エゴマ、大豆等の栽培をし、学習田では5年生が稲の栽培を行った。また緑化委員会が花壇やプランターで草花の栽培を行った。(色) 学校田やエゴマ畑、校地内にある畑や花壇などを各学年ごとに計画的に運営し、栽培活動を体験させた。(清) 花壇の整備や、技術科での栽培等の体験活動を重視するとともに、ゴミの分別等から環境について考えさせた。(中)	④ 概ね満足	どの学年も意欲的に取り組んでいる。今後は環境モラルの向上を目指してほしい。 農林課や公民館との共催事業による「花いっぱい運動」や学校支援ボランティア等とタイアップしての植栽活動や環境整備、各学級の花壇や学校園などの植栽活動をととして児童の主体的な活動を促し、勤労生産の喜びを体感させることができた。また、環境教育主任による諸掲示物やゴミの分別の呼びかけがなされている。	
	②各教科、道徳、特別活動等との関連を図った環境保全の実践的態度の育成	日常の清掃活動の推進とともに縦割り活動時や全校一斉で除草作業を実施した。(色) 日常の清掃活動や学期末の大掃除など、校舎内外の美化に取り組ませた。(清) 各教科、道徳での環境保全に関する指導を充実させた。(中)	④ 概ね満足	特に縦割り活動は高学年のリーダーシップを培う意味でも効果的な活動である。 各教科、領域では環境保全について指導はしているが、各教科での環境に関する指導内容の系統性を分析しなければならない。	
(3) 人間尊重・福祉の心を大切にする人権・福祉教育の推進					
	①互いに認め合い、ともに生きる心を育てる人権・福祉教育の推進	各教科や道徳、特別活動、あたごタイム、生徒指導等の活動を通して指導にあたった。(色) 人権教育の年間計画の作成と、各教科や「総合的な学習」の時間、道徳・特別活動等、全教育活動における人権・福祉教育の推進を図った。(清) 社会科の授業をはじめとした各教科・領域で人権尊重についての指導を行った。(中)	③ 普通	それぞれの学年部に応じて指導にあたっており、思いやりの心の伸長に今後も努めてほしい。 人権教育の学年ごとの年間指導計画の作成が必要である。 授業のみならず、教育のあらゆる機会を通して人権尊重を意識しながら指導にあたっていくとともに、教師の言葉遣い等にも十分に気を配っていく必要がある。	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		②福祉・ボランティア活動の奨励と実践化に向けた啓発の推進	種々の募金活動と車いすを購入するためのプルタブ回収運動を実施した。(色) 生徒会福祉委員会による各種募金活動や花の水やり、ベルマーク回収活動を行った。(中)	④ 概ね満足	計画委員会や福祉委員会を中心に意欲的な活動が行われているので今後も継続して実施してもらいたい。 生徒会活動やボランティア活動が活発であり、今後も継続してもらいたい。
		③家庭や地域との連携による人権・福祉教育の充実	望ましい人間関係づくりのために、学級会活動、朝や帰りの会等で言語環境を整える指導を行った。(色) テーマ「共生」のもと、人とかかわりをとおして、人権・福祉教育を実践した。また、一人暮らし老人や老人福祉施設の訪問と交流、高齢者や難病の方々との交流等により、いたわる心や思いやりの心を育む活動をした。(清) 地域の社会福祉施設、難病の人との交流を通して、福祉の実態を知るとともに、思いやりの心をはぐくむよう指導した。(中)	④ 概ね満足	言葉遣いを意識する児童が増えているようで、よい環境になりつつある。今後は保護者や地域の協力も得て指導を行っていく必要がある。 地域で取り組んでいる「あいさつ運動」が3年目を迎え、すべての子どもたちがしっかりあいさつできるようになった。今後も継続してもらいたい。 生徒の心を耕すことができる活動であり、今後も継続していく必要がある。
(4) 図書の充実と活用の促進を図る図書館教育の推進					
		①図書の整備と読書の意欲や能力を高め指導の充実	司書補を中心に企画・実践を行い、図書室活用の方法や読書習慣を身につけさせるように努めた。(色) 図書の充実や整理に努め、児童の図書室活用の方法と読書習慣を身につけさせ、心豊かな児童の育成に努めた。(清) 生徒会図書委員会活動を通して、読書に対する意欲を高めた。また、学校図書館ボランティアの協力を得て、図書の整備を行った。(中)	④ 概ね満足	司書補を中心に図書の整備と使いやすい図書室づくりに努めているので、利用する児童が増えているが、さらに図書ボランティアを活用し、いつでも貸し出しがしやすい環境を整える必要がある。 図書の利用が確実に増加していることから、生徒の読書の意欲の高まりがうかがえる。また、図書館ボランティアの協力は、図書整備に役立っている。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		②望ましい読書環境の整備と利用指導の強化	読書指導や図書室の利用指導を行い、図書室利用者の増加を図った。(色) 図書の充実と図書室利用のマナー向上、調べ学習など授業での活用に努めた。(清) 図書室の利用のし方を指導するとともに、図書の充実を図るため、教師・生徒の声を聞きながら新刊図書の選定を行った。(中)	④ 概ね満足	朝読書の実施と図書室の環境づくりが進み、利用者が増えているので、さらに指導を継続してほしい。また、図書委員会の活動を工夫してほしい。 生徒に図書室の利用のし方が確実に身に付いており、今後も指導を継続してもらいたい。
(5) 郷土についての理解とふるさと教育の推進					
		①郷土や地域を理解するための体験活動の充実	総合的な学習の時間で、3年「発見、色麻のよいところ」4年「みんなにやさしいまち色麻」5年「ぼくら色麻の米作り隊」6年「ふるさと色麻再発見」を実施し、地域理解を深めた。(色) 郷土色麻を知り、愛することができるような体験活動を実践した。(清) 職場体験学習を通して、色麻町の産業を理解させた。また、社会科の「身近な地域」の学習でも、色麻町の歴史や、地理的事象について理解させた。(中)	④ 概ね満足	どの学年も意欲的に郷土色麻の学習に取り組んでいる。今後も工夫して実施していく必要がある。また、神楽や太鼓など郷土に伝わる伝統芸能に親しむこともできた。今後、郷土を理解するための系統的な計画の整備に努めていかなければならない。
		②郷土の文化や産業に関する学習の推進	「郷土色麻」の学習を通し、郷土の文化や産業に関する理解を深めた。(色) 各教科や総合的な学習の時間などで、色麻の自然や文化、歴史などを生かし教材化に努めた。(清) 各教科で地域素材の教材化に努めた。(中)	④ 概ね満足	「色麻のよいところ」「探検花川」の学習を通し、地域の文化や産業に対する関心が高まった。 保野川から自然の豊かさ、田畑や農耕地から生産体験、果樹園やファームなど産業、神楽や太鼓・遺跡などから歴史と伝統文化などの教材化を図った。 各教科担任個々は努力しているが、学校としての計画が不十分であると感じるので、計画の整備に努めてほしい。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 事 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		③地域素材の教材化と地域の人材活用の推進	4年生の荒川堰の探索等, 新たな郷土にかかわる単元を作成した。(色) 積極的な地域素材の教材化と地域の人材活用の推進を図った。(清) 音楽の民謡の授業は, 地域の民謡保存会の協力を得て行った。(中)	④ 概ね満足	地域の素晴らしい素材により, 有意義な学習となったようであるが, 今後も新たな教材の発掘に努めてほしい。また, 学校支援ボランティアの協力に感謝する。 民謡保存会の協力により, 生徒が地域の文化を理解する有意義な機会となっている。
11 教育課程を踏まえた創意と活力に満ちた園の経営					
		①幼児・家庭・地域社会の実態を踏まえた創意ある教育課程の編成と確実な実施	幼稚園教育要領の主旨に沿って, 幼児・家庭, 地域社会の実態を踏まえた創意ある教育課程の編成と実施に努めた。(色幼)(清幼)	③ 普通	実態を踏まえた教育課程を編成し実施に努めたが, 今後も創意工夫を加えていく必要がある。 小学校との円滑な接続を求め, 交流活動及び職員の情報交換が重要である。
		②職員の協働体制の確立と実践評価をもとにした園教育の充実・向上	年少と年長の担任, さらに小学校1年担任との連絡を密にすることで, 協働体制を整え, 園教育の充実に努めた。(色幼) 職員の協働体制の確立と実践の園評価計画をもとに保育内容の充実・向上を図った。(清幼)	④ 概ね満足	職員の協働体制は整いつつあるが, さらに充実した教育になるよう, 評価・反省を重ねて向上を目指してほしい。 職員が共通理解を図り, 個々の園児の実態把握及び特別支援を含んだ保育が行われている。
		③地域に開かれた信頼される園経営の実践	家庭や地域社会及び関係機関との連携を密にし, 開かれた園経営に努めた。(色幼) 地域の自然や施設, 人材を生かし地域に開かれた信頼される園経営の実践を図った。(清幼)	③ 普通	園だよりや父母の会だより等で情報発信するとともに, 園行事へより多くの地域の人々に来園してもらえよう工夫してほしい。 「ふれあいデー」を通して世代間交流を行い, 地域に開かれた保育が行われている。
12 幼児の発達の特性を踏まえた特色ある教育課程の編成と実施・改善					
		①適切な環境の構成と計画的な評価・改善	計画的な評価を実施し, 保育内容の改善に努めた。(色幼) 幼稚園指導要領をもとにして, 適切な保育環境の構成と年間を見通した計画的な評価を実施し保育の改善を図った。(清幼)	④ 概ね満足	月ごとに行事や研究の反省を行い改善を図っている。今後も継続してほしい。 教育計画に基づいた保育実践がなされている。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 施 策	推 進 事 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		②具体的なねらいや内容を明確にした指導計画の作成	教育目標の達成を目指し、具体的なねらいや内容を明確にした指導計画の作成に努めた。(色幼) 幼児の発達の段階を十分に把握し、具体的なねらいや内容を明確にした創意ある指導計画を作成した。(清幼)	④ 概ね満足	2年間で8期に分けた発達段階を考慮した年間指導計画のもと、教育目標の達成に向けて今後も努力してほしい。
		③必要性和教育的価値に裏付けられた行事の設定	運動会や発表会など、それぞれの発達に応じた行事を計画し、実行した。(色幼) 幼児の発達状況や実態を踏まえ、必要性和教育的価値に裏付けられた行事を計画した。(清幼)	④ 概ね満足	栽培活動、親子体育遊び、親子レクリエーション等目的にあった行事が実行された。 運動会等の諸行事に特別支援を含め、個に応じた参加の仕方を検討することは、とても大切なことである。
		④幼児の思いと教師の意図の融合推進	幼児の実態と保護者の思いをとらえ教師の願いや意図を融合した保育実践に努めた。(色幼) 幼児の思いをとらえ、教師の願いや意図との融合した保育を実践した。(清幼)	④ 概ね満足	家庭訪問や保育所からの聞き取り等の情報交換は有効であり、今後も継続してほしい。 わらべ歌を通して保育活動を重視し、幼児の主体性の伸長につながった。
13 個々の特性に応じた指導の充実					
		①生きる力の基盤形成のための個に応じた指導の充実	基本的な生活習慣の育成を目指し、生活習慣のアンケート等をもとに、個に応じた指導の充実を図った。(色幼) 個に応じた生きる力の基盤育成のための指導の充実を図った。(清幼)	④ 概ね満足	あいさつや返事、身のまわりの整頓などできるよう今後も個に応じて指導していく必要がある。 個の成長過程をとらえ、家庭及び関係機関との連携が図られている。
		②個々の主体的な活動の促進と豊かな体験のための指導の推進	自然環境の良さを生かし、主体的に活動できるような体験活動の実践に努めた。(色幼) 個々の主体的な活動の促進と豊かな体験のための保育指導の推進を図った。(清幼)	⑤ 大変満足	しゃくやく見学、りんご狩り、栗拾いなど意欲的に活動しており、これからも継続してほしい。 栽培活動及びクッキング活動を通して、食育への推進となった。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 事	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		③ティーム保育等の指導体制や活動形態の工夫	合同保育を実施し、異年齢との活動の機会をもつなど、よりよい保育形態の工夫をした。(色幼) 教師の持ち味を生かした、ティーム保育等の指導体制や活動形態の工夫を図った。(清幼)	④ 概ね満足	複数の目で見ることにより、互いに補いあうことができるので、さらにTT保育などを工夫してほしい。
		④幼児期の道徳性の芽生えを培う体験の積み重ねと適切な援助の充実	動物との触れ合いや自然体験の実施を通し、道徳性の芽生えを大切にしていこう心がけた。(色幼) 幼児期の道徳性の芽生えを培うように、日々の体験の積み重ねと適切な援助の充実を図った。(清幼)	④ 概ね満足	動物園遠足、栗拾い、りんご狩りなどは有効なので、これからも継続してほしい。 帰りの会を活用した個々の体験を振り返らせ、適切な援助が図られている。
14 幼児期から児童期への発達段階を踏まえた幼・保・小の連携					
		①幼児期にふさわしい思考・態度・生活の基盤に関する学びの充実	小学校入学を見据え、小学校行事を見学したり参加したり、小学校と連携した保育計画に努めた。(色幼) 小学校への進学を見据えた、幼児期にふさわしい思考・態度・生活の基礎に関する学びの充実を図った。(清幼)	④ 概ね満足	発表会や学芸会の見学をしたり、収穫祭に参加することを通し、充実した学びの機会になった。 運動会、学芸会等小学校行事に参加し、あこがれや就学への期待につながっている。
		②学びの連続性を踏まえた教育課程の工夫・改善の教師間の交流・連携の推進	小学校への学びの連続性を踏まえた教育課程の工夫と教師間の交流に努めた。(色幼) 小学校とのスムーズな接続を視野にいたし、学びの連続性を踏まえた教育課程の工夫・改善と教師間の交流・連携を推進した。(清幼)	④ 概ね満足	行事を中心に交流体験を行っているが、今後も交流時期や交流学年を考慮した計画と実践及び教師間の連携が必要である。
		③幼・保・小のねらいの明確化と遊びを通した交流活動の充実	日常的な活動や遊び、行事等に、交流活動を取り入れ充実を図った。(色幼) 幼・保・小のねらいの明確化と遊びを通した交流活動の充実を図った。(清幼)	③ 普通	保育所との交流会、小学校児童の幼稚園訪問など今後も交流活動を継続してほしい。また、それぞれの発達段階をとらえた交流活動計画の作成が必要である。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
15 家庭や地域・関係機関との緊密な連携					
		①保護者や家庭との密接な連携による基本的な生活習慣の育成や規範意識の醸成	連絡帳や園だよりを通じ、保護者や家庭との連携をはかり、基本的な生活習慣の育成や規範意識の醸成に努めた。(色幼) 保護者や家庭との密接な連携による基本的な生活習慣の育成や規範意識の醸成を図った。(清幼)	④ 概ね満足	園だより、父母の会だよりは情報発信に、連絡帳は家庭との情報交換に有効であった。 表現活動等を通して「早寝早起き朝ごはん」の意識向上につながっている。
		②家庭や専門諸機関と緊密な連携による個に配慮した適切な指導や支援の充実	専門機関との連携が必要な場合は、家庭や園児の実態に配慮した支援に努めた。(色幼) 保護者や家庭との密接な連携による基本的な生活習慣の育成や規範意識の醸成を図った。(清幼)	④ 概ね満足	教育相談、事務所のカウンセラーの活用など、家庭や園児の実態に応じて支援していく必要がある。 コーディネーターを中心に家庭や関係機関との緊密な連携が取られている。
		③関係機関と緊密な連携による幼児の安全最優先の危機・保護管理体制の確立	保健福祉センターや公民館などの機関と連携し園児の安全・保護管理体制の確立に努めた。(色幼) 保健福祉センターや公民館など関係機関との緊密な連携による幼児の安全最優先の危機・保護管理体制を確立した。(清幼)	④ 概ね満足	園児の安全・保護については、今後も町の関係機関との連携を深めていく必要がある。 定期的及び必要に応じた会議により、体制が確立されている。
16 子育て支援と預かり保育の充実					
		①家庭や地域の子育て支援等、地域の幼児教育センターとしての役割の充実	家庭や地域の子育て支援等、地域の幼児教育センターとしての役割の充実に努めた。(色幼)(清幼)	③ 普通	預かり保育の実施を通し、役割を果たしているのだから充実していきたい。また、保健師や民生児童委員との情報の共有に努めている。
		②預かり保育の実施にあたっての諸条件・実態等への十分な配慮	預かり保育の実施にあたっての諸条件・実態等への十分な配慮に努めた。(色幼)(清幼)	④ 概ね満足	施設・設備等については要望を聞きつつ、今後も配慮していきたい。 預かり保育担当との日々の引継ぎを大切にしながら進められている。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 施 策	推 進 事 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
17 教職員の研修の充実と実践的研究の奨励					
		①専門職としての意識の高揚と研修機会の拡大	校内研究テーマに基づいた組織作りと役割分担し、PDCAサイクルに基づき検討と改善を行った。(色) 校内研修の定例化と課題意識の共通理解を図った。(清)(中)	④ 概ね満足	校内研修計画に基づいて充実した研修を実施し、評価反省もきちんと行われている。 校内研究テーマに基づいた組織づくりと役割分担、PDCAサイクルに基づいた検討と改善、各種研修会参加と校内での伝講会の実施など、校内研修体制が整備されている。
		②校内研究体制の確立と研究・研修内容の充実	校内研究体制を整え、低・中・高学年部を軸に、研究と研修内容の充実に努めた。(色) 町と園との共同研究体制の確立と研究・研修内容の充実に努めた。(清) 研究主任を中心に、全職員で校内研究への参画意識を高めた。(中)	④ 概ね満足	低・中・高学年部それぞれがチームとなって研究の充実が図られているが、今後の継続が大切である。 授業研究を提供する職員が増えており、研究への参画意識の高まりは見られるが、さらにこれを指導力の向上につなげてほしい。
		③それぞれの立場や分掌に即した個人研究の奨励とその実践化	それぞれの担当や立場、分掌に応じた個人研究の奨励とその実践化を促した。(色)(清) 校内研究テーマに基づいた個人研究テーマを設定し、日々の授業にあたった。また、年度末には、個人のまとめを行い、研究のまとめとして発行した。(中)	③ 普通	それぞれの立場で意欲的に研鑽に励む姿が見られたが、その実践化と更なる改善に向けた取り組みを期待したい。 個人研究のまとめを全職員の発表を通し、共通の課題を見出す場が必要である。
		④幼・小・中学校教職員相互の連携による研修	学校行事などを通して、幼・小・中学校教職員相互の連携の充実に努めた。(色)(清)	③ 普通	指導主事訪問時には互いに授業参観を行い、研修の機会としているが、さらなる充実と、互いに情報交換ができる場の設定を工夫してほしい。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重点策	推進事項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
18 教職員の服務規律遵守の徹底					
		①教育公務員としての自覚と規律の遵守	教育公務員としての自覚と規律の遵守の徹底を図った。(全)	③ 普通	職員会議や打合せ等、折りに触れ徹底を図っているが、今後も継続した意識化が必要である。 「生徒に説明できない行為は絶対しない」を合い言葉として、教育公務員としての自覚をさらに高めてほしい。
		②職務遂行における危機管理意識の高揚	毎月、校長の指示伝達の中で指導するとともに、必要に応じて服務徹底のための個別指導や全体指導を行った。(色) 毎月、校長の指示伝達の中で指導した。(清) 教育計画の中に掲載し、日常的に活用させた。(清) 服務に関する事故が発生した際に校長指示伝達を実施した。(清) ふだんから、天災をはじめとした災害及び人災に対する心がまえを持ち、生徒の安全を確保するよう努めた。(中)	④ 概ね満足	継続的な指導で意識は高まっているが、さらに危機管理意識を高めていく必要がある。 公務員としての服務規律については、常日頃から職員に周知徹底する必要がある。 防災に関するマニュアルを見直し、あらゆるケースを想定した対応策を吟味する必要がある。
		③児童・生徒や保護者及び地域との信頼関係の構築	信頼される教職員として服務規律の遵守に努め、学校の状況について適切に情報を発信し、地域の人々との信頼を保つように努めた。(色) 日常的な人間関係づくりを意識的に努め、児童や保護者、地域の方々との信頼関係を保つように努力した。(清) 「生徒最優先に考える学校」をめざし、教育活動にあたっていることを保護者会で伝えるとともに、学校からの情報発信及び開かれた学校づくりに努めた。(中)	④ 概ね満足	学校だよりや学級だよりを通じた情報の発信は、学校理解に有効なので、今後も継続していく必要がある。 保護者や地域の人々との信頼関係づくりに努める必要がある。 生徒による学校生活アンケート及び保護者による学校改善アンケート結果から90%以上の肯定的な評価を得ているが、より100%に近づけるよう、継続的な努力を望む。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重点 施策	推進 事項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
19 教職員の健康管理と福利厚生の充実					
		①職員の心身の状況の的確な把握と適切なケアの推進	日常の観察や養護教諭からの情報をもとに、職員の健康状態の把握や健康増進に努めた。(色) 職員同士、コミュニケーションを取り合い、日ごろの会話などから健康状況の把握に努めた。(清) 養護教諭との連携を図り、職員間の心身の健康状態の把握に努めた。(中)	④ 概ね満足	コミュニケーションを大事にし、今後も心身のケアを推進していく必要がある。 日ごろから職員同士のコミュニケーションを大切に、何でも相談できる雰囲気を作してほしい。 養護教諭への健康相談や管理職への相談もあり、職員間の良好な人間関係が醸成されている。
		②職場単位や職場相互の福利厚生の実施	校内でレクリエーション等を企画し、厚生活動の充実を図った。(全)	③ 普通	校内で職員の部活動を組織し、校内レクリエーションを実施しているが、よい職場とするよう、さらに良好な人間関係づくりに努めてほしい。
20 学校環境の安全と整備・充実					
		①学校周辺や通学路の安全点検と施設設備の点検・整備	通学路や学校周辺、地域の安全については、職員やPTA役員の巡視を行い、把握できた問題については速やかに対応した。(色) 校舎内外に危険箇所はないか、児童の眼の高さで点検した。(清) 週に数回の巡視及び生徒を対象とした通学路調査から、学校周辺の危険箇所の確認を行った。(中)	④ 概ね満足	雑草による自転車通学には危険な箇所や地区内のため池、交差点など適切な対応ができています。 毎月1日を安全の日とし、教職員が3つのグループに分かれて点検を行っているが、学期ごとに入れ替わり、違った眼での点検も必要である。 危険箇所の把握は概ねできていますが、生徒の通学路が広範囲に亘るため、多くの情報を得るための工夫が必要である。
		②施設・設備・植栽等の管理・保全と安全指導の徹底	日常の管理とともに月1回の安全点検を実施し、職員や技能員の修繕で対応できない場合は外部に依頼し迅速な対応に努めた。(色) 児童の安全を確保するため、点検を行った。(清) 月例の安全点検を実施し、施設・設備・備品等の安全な状態を確認した。(中)	④ 概ね満足	修繕可能なものは職員や技能員が修理しており、概ね安全な状態にあるので、今後も徹底してほしい。 台風や暴風雪などのときに、職員が手分けして学区内を巡回し、危険箇所を把握し、児童の安全に配慮する工夫も必要である。 不要な備品や廃棄すべき物を確認し、より使いやすく安全な環境づくりに努めてほしい。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
21 施設・設備の開放の推進					
		①地域並びに社会教育・社会体育等への積極的な解放の推進	講堂や校庭, その他必要な施設を, それぞれの要請に応じて貸与を実施した。(色) 社会体育へ校庭や体育館を貸し出した。(清) しまっ子クラブや預かり保育との連携を密にし, 校舎等施設を効果的に活用した。(清) 学校の施設・備品を地域へ開放するとともに, 生徒が地域や町の行事に参加するよう奨励した。(中)	④ 概ね満足	野球, サッカー, ミニバスケット, タッチラグビーの少年団や自転車, 太鼓等の団体及び地区行事等に積極的な解放が行われている。 学校の施設開放は概ね満足であるが, 生徒の地域行事への参加については, 部活動との兼ね合いもありませんなかなか困難な状況であり, 工夫が必要である。
22 教材・教具の整備・充実と活用の促進					
		①教材・教具・備品等の管理・保全と安全指導の徹底	1学期末に備品整備日や台帳の整理日を設定し, 教材・教具・備品等の点検・整備に努めた。(色) 備品を整理し, 授業において効果的な活用を図った。(清) 配当予算の中で効率よく備品を購入した。(清) 年に1回, 備品の保守点検を実施する。備品の購入については, 各教科・領域部会からの希望を管理職及び担当が集約し, 優先順位を決定した。(中)	④ 概ね満足	各分掌できちんと点検・整備を行い, 備品台帳をもとに廃棄を行っている。また, 予算の範囲で, 優先順位をつけて, 児童生徒の教育活動に必要な物が整備されている。
		②コンピュータ等視聴覚機器の効果的活用の推進	視聴覚機器やコンピュータの効果的な活用について研修会を実施した。(色) 伝講会や校内研修の一貫として実施した。(清) 操作及び活用法についての校内研修の一貫として実施し, 技能を向上させた。(中)	④ 概ね満足	電子黒板等の使用について研修会を実施し, 職員の技能の向上を図っているが, PC操作, 視聴覚機器の活用の技能については, 個人差があるために, さらに技能を向上させる必要がある。
		③民族文化財等の保護・管理と効果的活用	教材・教具を定期的に点検し, 授業で効果的な活用を図った。(色)(清) 音楽では笙の学習を指導計画に位置付けた。また, 日常的に使用する備品等は職員室, 資料室に保管し, 活用しやすくした。(中)	④ 概ね満足	5年生の稲作の授業で, 代掻き・田植えの際に, 活用しているが, さらに効果的な活用を望む。また, 教材・教具の活用について職員研修を行ったり, 日常の整理・整頓, 故障点検を今後も継続して行う必要がある。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
23 生涯学習の推進					
(1) 学習機会の拡充と生涯学習情報の提供					
		①生涯学習関係行事予定表の全戸配布による情報の提供	毎年4月と10月に、上半期及び下半期の予定表を全戸に配布し、生涯学習行事の情報提供に努めた。	④ 概ね満足	大変感謝されているが、有線放送のない家庭もあるので、今後はホームページにも掲載してほしい。
		②出前講座等を活用した学習機会の提供	町民の方が学びたい内容を学習メニューから選び、町の職員が講師となり講話等を行い、多くの町民に学習の機会を提供した。	④ 概ね満足	町税に関する講座、色麻町の歴史に関する講座等を3回実施した。今後も、ホームページ等を活用し町民に周知してほしい。
		③広報紙や町のホームページ、有線放送を活用した学習情報の提供	生涯学習行事を広報紙に掲載し、併せて有線放送を活用して学習情報の提供と参加を呼びかけた。	④ 概ね満足	今後はホームページを積極的に活用してほしい。
(2) 生涯学習の環境づくりの推進					
		①学校、家庭及び地域住民等相互の連携協力の推進	町広報紙への掲載や事業毎のチラシの配布等、本町独自の広報手段である有線放送の活用により、詳細な学習情報の提供に努めた。	② やや不十分	今後はホームページを積極的に活用していくとともに、独自の広報紙も検討してほしい。
		②新たな指導者の育成とボランティアの養成	地域から人材を発掘し、コーディネーター養成講座に参加してもらい、学校支援地域本部事業に配置した。	④ 概ね満足	支援地域本部事業において、コーディネーターの役割が十分発揮できている。
		③既存のサークル活動への支援	現在文化協会の加盟団体数は32団体で、会報の発行や、色麻町民文化祭、みやぎ県民文化祭など、活動を支援した。	④ 概ね満足	加盟団体数が1団体増となり、積極的な活動が見られた。
(3) 生涯学習施設の効果的活用の促進					
		①気軽に利用できる環境づくりと学校教育施設の開放	町民の学習の場として、学習活動、芸術や趣味の活動、レクリエーション活動及び会議等の目的で、気軽に利用できる環境づくりを努めた。	④ 概ね満足	学校教育施設の有効活用しやすい環境作りに努めている。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 事 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
24 生涯各期の課題に応じた教室、講座等の充実					
(1) 幼児教育の充実					
		① 幼児期を対象とした情操教育の場の提供	音楽あそび・体育遊び・わらべうた・親子レクリエーション・人形劇鑑賞などの学習機会を提供した。	④ 概ね満足	幼稚園、保育所及び児童センターの親子を対象に、学習機会を提供し、多くの参加を得た。
		② 幼稚園・保育所及び児童センターとの連携強化	幼稚園、保育所及び支援センターが連携強化を図り、効率よく幼児教育事業を展開した。	④ 概ね満足	幼稚園、保育所及び支援センターが協力して、事業に取り組んだ。
(2) 家庭教育の充実					
		① 子育て・親育ち講座の開催	家庭の教育力の向上を図るため、学習参観等の機会を活用して、多くの保護者を対象に家庭教育に関する情報及び学習の機会を提供した。	④ 概ね満足	幼稚園、保育所、児童センター及び小学校の保護者を対象に、講演会を開催し、多くの参加を得た。
		② 家庭教育、子育てに関する相談体制の整備	放課後子ども教室や学童保育の場において、安全管理員が、送迎に来る保護者からの家庭教育や子育てに関する相談を受けた。	③ 普通	子育てに関する相談体制については、今後、福祉課との連携を図る必要がある。
		③ 家庭教育の情報提供	子育て・親育ち講座の内容を広報紙「ほっとタイム」で全戸配布し、家庭教育に関する情報を提供する。	② やや不十分	町の広報紙で、情報提供はしたものの、独自の広報紙「ほっとタイム」が発行されなかったため、今後の発行に期待する。
(3) 青少年教育の充実					
		① 地域教育力の再生に向けた青少年の体験活動・ボランティア活動の支援	サマーキャンプ、こどものまち、合宿通学など、体験活動を通して、青少年の豊かな人間性の育成を図った。	③ 普通	サマーキャンプについては、もう少し子どもたちに自主性を持たせる必要がある。こどものまちは、盛況であったが、合宿通学は、参加者が少なかったため今後計画を再検討してほしい。
		② 地域ぐるみで子ども育てる体制の整備	家庭、学校、地域社会、警察、行政等が一体となり、相互の連絡を密にして、青少年の非行を未然に防止し、健全な青少年の育成を図った。	③ 普通	本町には、大きな犯罪がないこともあり、形式的な会議に陥りやすいが、お互いの情報提供の場として有効であった。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		③放課後における子どもたちの安全・安心な居場所の確保	放課後子ども教室と学童保育が連携して、小学校区ごとに、放課後に適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図った。	④ 概ね満足	本事業は、共働き家庭にとっては欠かすことができない事業であるので、今後も継続する必要がある。
		④ジュニア・リーダーの育成と地域貢献機会の拡大	各種研修会に積極的に参加し、ジュニア・リーダーの資質を高めるとともに、地域に貢献できる機会を構築した。	③ 普通	各種研修会に積極的に参加し、各種事業において、活躍した。もう少し、人材の確保に努めてほしい。
		⑤青少年の広域的な出会いや交流機会の提供	みやぎ青年交流推進センターと連携しながら、結婚相談を実施した。	② やや不十分	相談会を企画したが、参加者がなかったもので、今後は、大崎圏域で広域的に活動する必要がある。
		⑥青年の地域活動支援	地域の青年を中心にし、文化活動の発表やフェスティバル的イベントを行う大崎地区青年文化祭「ユースフェスティバル」への参加を支援した。	③ 普通	四竈櫻商太鼓が大崎地区青年文化祭「ユースフェスティバル」へ参加し、日頃の練習の成果を披露した。
(4)成人教育の充実					
		①成人式の開催	町内の小中学校を卒業した者、就職や結婚で現在町内に登録している者で、二十歳を迎える者を対象に式典を開催した。	④ 概ね満足	新成人の中から実行委員会を組織し、式典に主体性を持たせている。また、記念文集「はたち」も継続して作成されている。
		②成人の多様な学習ニーズに対応する事業の推進と学習機会の拡大	成人の多様な学習ニーズに対応した、ヨガ教室、料理教室、和太鼓教室などを開催した。	④ 概ね満足	各事業において、概ね予定の参加者を募ることができている。
		③外国語や異文化にふれあう機会の提供と国際理解の推進	国際交流パーティーを行い、外国語や異文化にふれあう機会を提供した。	② やや不十分	ALTの帰国に合わせファイナルパーティーを開催したところ、多くの参加があった。今後は、英会話教室等を企画してもよいのではないかな。
		④ボランティア活動と地域活動への参加の推進	町や各種実行委員会が行う行事に、官民協働のまちづくりを推進するため、地域の方々にボランティアとして参加してもらった。	④ 概ね満足	小中学校において、花壇づくり、裁縫の指導、えごま栽培、米作り等の指導など多くのボランティアの協力を得ることができた。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		⑤生活合理化運動の推進	すばらしい色麻を創る協議会を中心に、住みよい地域社会をつくるため、生活合理化運動の推進を図った。	④ 概ね満足	お互いの負担を減らし、ムダをなくす生活合理化運動が地域に浸透しつつある。
		(5) 女性教育の充実			
		①女性の特性を活かした地域社会活動への参加の推進	社会活動や教養講座など婦人会が行う事業を援助し、成人女性の資質や能力の向上を図った。	④ 概ね満足	婦人会が行う各種事業を推進するため、多面的な援助が行われている。
		②ニーズに即した学習講座・学習教室等の実施	キラデコTシャツづくり, 簡単! 役立つラッピング教室など成人女性を対象に、各種講座を開催した。	③ 普通	いきいき女性セミナーとして、各種事業を企画したが、もう少し参加者を増やす努力が必要である。
		(6) 高齢者教育の充実			
		①高齢者の多様化・高度化する学習ニーズに応じた学習機会の提供	60歳以上の町民を対象に、共通の興味・関心等を追求する活動を通して、生きがいの実現や自己実現を図る学習の機会を提供した。	③ 普通	高齢者社会が進む中で、生きがいの実現や自己実現を図るための創意工夫が必要である。
		②高齢者の「健康」と「生きがい」につながる学習講座等の実施	福祉課の「生き生き長生き講座」との共催により、健康に関する講話会や、安全安心講話会など8回にわたり学習講座を開催した。	④ 概ね満足	いずれの講演会にも、多くの参加があり、関心の深さを感じた。
25 文化・芸術活動の振興					
		(1) 芸術鑑賞の機会の提供と拡充			
		①宮城県青少年劇場小公演	色麻中学校全生徒を対象に、プロの三味線奏者新田昌弘と上原潤之助による演奏会を実施した。	④ 概ね満足	プロによる生の演奏に触れる機会を与え、中学生に感動を与えることができた。
		②宮城県巡回小劇場	色麻小学校、清水小学校児童を対象に、混声四重奏によるオペラを披露した。	④ 概ね満足	子どもたちは、普段あまり触れる機会のないオペラを堪能することができた。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		③演劇ワークショップ	みやぎ芸術銀河により、舞台普及拡大事業の一環で、「葉っぱのフレディのちの旅」をテキストに朗読のテクニックを学んだ。	④ 概ね満足	参加者は22名であったが、大変好評であった。
		(2) 芸術・文化活動の担い手の育成支援と成果発表の場の積極的な設定			
		①さなぶり芸能大会	婦人会各支部、文化協会加盟団体が主催し、郷土芸能の発表、婦人会チャリティショー、民謡発表などを行った。	④ 概ね満足	町民500名が参加し、盛大に開催された。婦人会や、文化協会の発表の場として、今後も継続してほしい。
		②町民文化祭	文化協会加盟団体が主催し、作品の展示及び、ステージ発表を行った。	④ 概ね満足	文化協会の常日頃の活動を、町民秋祭りに合わせて開催し、多くの町民の前に展示・発表する機会となった。
26 文化財保護体制の整備充実と活用の推進					
		(1) 文化財保護思想の普及と保護体制の充実			
		①開発行為	個人住宅建替に係る色麻古墳群の工事立会、土砂採掘に際し、県担当課・町担当・業者の三者協議を行った。	④ 概ね満足	今年度は、2件の事案があり、立会による確認作業が行われた。
		②発掘調査	日の出山瓦窯跡F地点発掘調査及び現地説明会を実施した。	④ 概ね満足	宮城県多賀城城跡調査研究所と共催により発掘調査が実施された。現地説明会には約100名の参加があり好評を得た。
		(2) 文化財史跡の整備			
		①史跡整備等	史跡アクセス道路の草刈り、敷砂利等の整備を行った。	③ 普通	町の史跡を多くの方に見ていただくよう、2回にわたり整備作業が実施された。
		(3) 文化伝承芸能活動の積極的な支援等			
		①町指定文化伝承芸能活動の奨励	町が指定している清水田植え踊りと清水神楽を伝承するために、各保存会に奨励金を交付した。	③ 普通	通年どおり奨励金が交付され、町指定の2団体に文化伝承芸能活動の支援が行われた。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 事 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		②町郷土芸能復興活動の奨励	高城獅子舞保存会, カップブギ色麻, 河童太鼓, 仙北麦つき踊り保存会, 桜花太鼓, 松坂節保存会, 色麻小河童太鼓, 清水小清水神楽に奨励金を交付した。	③ 普通	通年どおり奨励金を交付し, 地域文化の伝承芸能活動の充実が図られており, 今後も継続してほしい。
		(4)町内の文化財や資料展示室等を活用した学習機会の提供			
		①史跡めぐり・校外学習	色麻小学校の校外学習で2回にわたり, 指導を行った。	③ 普通	児童に町内の史跡を紹介することにより, 文化財への関心を深めることができた。
		②資料展示室内の展示・学習機会の提供	通常の展示に加え, 企画展として, 「浅野勝作品特別展」「早坂信正現代刀展及び講演会」, 「日の出山瓦窯跡F地点発掘調査速報展」を実施した。	④ 概ね満足	新たな企画展や講演会を実施することにより, 集客に貢献できているが, さらなる創意工夫を望む。
27 生涯スポーツの推進					
		(1)気軽にスポーツができる環境の整備と生涯スポーツの普及と振興			
		①町体育施設の環境整備	町民体育館・屋外運動場・武道館・テニスコートの清掃点検業務を行った。	③ 普通	各施設を気持ちよく且つ安全に使用していただくよう, 清掃及び点検等の維持管理がなされている。
		②町体育協会の効率的運用	各種団体の使用が重複しないよう調整をし, 効率的な運用を図った。	③ 普通	各種団体の協力により, 効率的な運用が図られている。
		(2)町民大運動会やチャレンジデーの開催と各種スポーツ大会の実施			
		①町民大運動会の開催	実行委員会を組織し, プログラム, 予算など, 多くの町民が参加しやすく, 楽しめる運動会になるよう検討した。	④ 概ね満足	町民が一同に会し, スポーツをとってお互いのコミュニケーションや体力向上等を図ることができた。
		②チャレンジデーの開催	5月の最終水曜日に, 何らかの運動やスポーツで身体を動かした住民の参加率を人口規模がほぼ同じ自治体同士で競い合うスポーツイベント。	④ 概ね満足	岩手県藤沢町が対戦相手で, 残念ながら敗れたが, 65%を上回る結果となり, 金メダルを受領することができた。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
	(3)子どもの体力・運動能力の向上や健康指導の充実				
		①親子レクリエーションの開催	家族や仲間を楽しむレクリエーションを通して、体力向上や健康づくりに努めた。	④ 概ね満足	幼稚園と支援センターの親子を対象に、県レクリエーション協会から講師を招き4回にわたり実施され、好評を得た。
		②体育遊びの開催	色々な運動を体験させ、楽しく活動することで基本的な運動能力を身につくよう体育遊びを実施した。	④ 概ね満足	幼稚園と支援センターの親子を対象に、ハートウイング加藤一茂氏を講師に招き4回にわたり実施され、好評を得た。
		③コーディネーショントレーニングの普及	あらゆる機会をとおしてコーディネーショントレーニングの普及に努めた。	④ 概ね満足	チャレンジデーと宮城ヘルシーの機会をとらえ、小学生から高齢者まで、コーディネーショントレーニングを体験してもらったが、さらなる町民への普及を望む。
	(4)スポーツ少年団活動の支援				
		①町スポーツ少年団への支援体制	スポーツ少年団結成の促進と育成援助。スポーツ少年団指導者及びリーダーの育成に努めた。	④ 概ね満足	入団式、運動適正テスト、スポ少しかまの発行など、スポーツ少年団結成の促進と育成援助に努めた。
		②町スポーツ少年団指導者協議会の設置	指導者相互の連帯と指導力の向上を図るとともに、指導活動の促進方策について協議町スポーツ少年団に意見を具申した。	③ 普通	町スポーツ少年団指導者協議会を設置し、指導活動の促進方策について話し合いがなされた。
		③町スポーツ少年団の案内	ホームページ、町広報紙、小学校へのチラシの配布、及び有線放送の活用により、入団を呼びかけた。	④ 概ね満足	情報を広く伝えるよう多くの手段を用いて周知が図られている。
28 図書室・図書等の有効利用の推進					
	(1)図書室等の活用促進と町民に親しまれる図書室の運用				
		①図書関係事業	図書の貸出業務、新刊図書の購入及び紹介を町広報紙を活用して周知した。	③ 普通	図書の貸出業務は、一般の利用は概ね良好だったが、中・高生の利用が比較的少なかった。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策	推 進 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		(2)読書習慣の定着が図られるような図書環境づくり			
		①幼・保連携による移動図書「なかよし号」の実施	6月～翌年2月にかけて、毎月幼稚園・保育所を巡回訪問した。	④ 概ね満足	毎月4回、幼稚園・保育所を巡回訪問し、読書習慣の定着に寄与している。
		②親子読み聞かせ講座を通じた読書活動の推進	地域ボランティアにより、読書活動を推進した。	④ 概ね満足	幼稚園・保育所を訪問し、地域ボランティアによる、絵本の読み聞かせや紙芝居が実施され、好評を得た。
29 情報技術・視聴覚教育の充実と振興					
		(1)大崎生涯学習センター(パレット大崎)の活用促進と基本的知識や能力を習得する機械の提供			
		①大崎生涯学習センターの活用促進と基本的知識や能力を習得する機会の提供	小・中学校の理科・総合的な学習の時間・遠足・PTA行事などで利用した。	④ 概ね満足	16ミリ映画フィルム、ビデオ、DVDの利用が、幼稚園及び小・中学校においては、概ね良好であった。
		(2)各種視聴覚教材ソフトを活用した学習活動の推進			
		①大崎生涯学習センターの利用案内	大崎生涯学習センターは、視聴覚施設・伝統文化室・研修室・情報ロビー・多目的ホール・体験展示室・ふれあい広場・プラネタリウム館・天体ドームなどの設備が充実しているので、町民に利用を呼びかけた。	③ 普通	大崎生涯学習センターの利用について、小・中学校及び町民への周知が図られている。
30 奨学事業運営事業					
		(1)奨学資金貸付金貸与者選考、貸付け、返還及び基金造成			
		①奨学資金の貸付、返還に関すること	貸付申込者について、奨学事業運営委員会に諮問をし、選考を行い、品行方正にして学業優秀で就学を希望しているにもかかわらず、経済的理由により、就学困難な生徒に対し奨学資金の貸付けを行った。貸付満了者については、計画的な返還がなされている。 また、奨学事業運営のための基金の造成も計画的に行った。 ・貸付者 39人 ・返還者 97人	④ 概ね満足	事業の趣旨に沿った、良好な運営がなされているが、さらなる計画的な返還及び未納額の減少に努める必要がある。

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成22年度事業)

重 点 策 施	推 進 事 項	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
31 児童生徒の通学確保に関する事業					
	(1)児童生徒送迎事業。				
	①児童送迎事業	児童生徒の通学手段として、バスを運行し、安全且つ確実に送迎を行った。 ・利用者 色麻小学校 126人 43.6% 清水小学校 49人 35.0% 色麻中学校 95人 51.4%	③ 普通	良好な運営だったが、校門付近の安全確保が課題である。保護者の送迎車と交錯し、徒歩で登下校する児童も危険な場合がある。今後も諸々の事故防止のために万全を期してほしい。	
32 幼稚園児の通園確保に関する事業					
	(1)園児送迎事業。				
	①園児送迎事業	幼稚園児の通園手段として、バスを運行し、安全且つ確実に送迎を行った。 ・利用者 色麻幼稚園 59人 88.1% 清水幼稚園 26人 76.5%	⑤ 大変満足	良好な運営だったが、今後も諸々の事故防止のために万全を期してほしい。	

色麻町教育委員会事務事業点検評価意見書

(平成 2 2 年度事業)

色麻町教育委員会事務事業点検評価（平成22年度事業）意見書

教育委員会では、教育基本方針に基づき、町民一人一人が健康的で快適な生活が送れるよう、学校教育並びに社会教育の充実など生涯各期にわたる学習基盤確立のため、多くの施策を継続的に講じている。

平成22年度からは、更に具体的取り組み内容や実施計画等を記した「具体的事業実践プラン」を新たに作成されたことは大変素晴らしいことであり、その努力に敬意を表し感謝申し上げる。また、こうした各種事業について、教育委員会内部での点検・評価を通し事業内容が厳選され、より効率的でかつ有効に事業が遂行されることは学校・家庭・地域との連携が更に強化され、尚一層教育行政の充実発展を期し、大きな成果を上げることができたと考える。各種事業の自己評価の結果を見ると、5段階評価で「大変満足」1.9%、「概ね満足」67.3%、合計69.2%と約7割近くを占めており、教育行政事務の管理及び執行状況が概ね妥当との見解を示されたものと判断する。

次に、学校教育について申し上げますと、

『創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進』では、新学習指導要領に基づいた教育課程の実施は、学校評価の反省点によって次年度に生かされており、とても良いが、その一方で小中一貫教育の準備段階としては早期のカリキュラム作成と準備・取り組みが必要ではないかと感じる。

『確かな学力を身につけさせるための指導と評価の工夫』では、各学校での研究は実施されているが、具体的施策や経験の浅い職員のスキルアップ、集団行動やコミュニケーション能力の向上に関する研修、初任者同士が課題解決に向け話し合うなど、指導力向上に係る研修の機会を多様化し、自己啓発による実践的指導力の向上をはじめ、教員の指導力向上に努めていただきたい。また、学習内容の指導については、少人数の指導体制や繰り返し指導を実施している。学力向上も含め総合的な評価が難しい所である。道徳心や幅広い知識と教養、ニーズに対応した教育指導を推進していただきたい。

『教職員の規律遵守の徹底』では、教育公務員としての自覚と規律は、服装から見てもとても良いし、先生自らが児童・生徒を挨拶で出迎える姿勢は温かさが伝わってきて地域住民も安心している。今後も、優れた人材の確保は大きな課題ではあるが、継続的な取り組みに期待する。

『豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成』では、学校だよりを各地区内

全戸に配布し情報発信をしているが、有線放送等のメディアを最大限利用し、各学校の行事等を伝えるなど、町内の学区の隔たりをなくす努力や、誰もが気軽に学校行事に参加・支援できるような工夫のもと、今後一層の開かれた学校づくりを期待する。

このように学校教育に関しては、教育委員会の温かな支援のもと、各学校・幼稚園において、校長・園長のリーダーシップにより、地域から信頼される着実な学校・園経営がなされていることが評価の結果及び地域における子どもの様子から見て取れることは嬉しいことである。ただ、現代社会の状況を考えたとき、子どもたちの将来に明るさを見出すためにはどうしたらよいかを考え、実践することが必要であると思う。先行き不透明な時代であるが故に、未来を力強く生き抜く人材の育成が急務であるとする。すべての子どもたちが夢と志をもって、安心して学べる学習環境、そして子どもたちの目標意識を高め、やる気を引き出させるとともに、それに応える環境を整えていきたいものである。

次に、児童・生徒の災害対策等について申し上げますと、平成23年3月11日の東日本大震災発生時においては、学校への留め置きを実施するなど、児童・生徒の安全確保を最優先したことは評価に値する。幸いにも、たまたま児童・生徒が学校に滞在していた時間帯であったことが功を奏したものと推測するが、登下校時など、一人でいるときに発生した場合など、さまざまな状況を想定する必要があると思われる。

今後、児童・生徒の預かり基準の明確化はもとより、災害時のリスク対応にあたっての共通理解とマニュアルの作成など、児童・生徒に関する災害対策や危機管理等について積極的かつ早急に取り組み、訓練や指導をおこなっていただきたいと願うものである。

次に、本町にとって、最も重要な施策である小中一貫教育について申し上げますと、『小中一貫教育校』の平成26年4月開校に向け事業が進められており、当推進室発足後、毎月「小中一貫教育推進室だより」を全世帯に配付するなど、町民への説明責任を果たし信頼される教育行政の推進に努められていることは、正に評価に値するものである。

さらに、新しい学校名、校歌・校章の制定、制服、運動着の在り方など、数多くの検討すべき事項や課題が存在しており、今後は、これらの課題解決に向けて小中一貫教育推進委員会での協議、又有識者による協議等も踏まえながら、最終的には教育委員会で判断するものと思われるが、幅広い視点が必要と認められる事項については、町民とのパートナーシップに基づき選択肢を示し判断していただくことも必要になってくるのではないかとと思われる。

小中一貫教育のカリキュラムの早期導入を目指し、小・中学校の連帯・協和・協働の円滑化を推進し、町民の皆様にもっと関心を持って頂ける事業プロジェクトにしていきたい。この革命課題が円滑に推進され、着実な成果を挙げるには、教育委員会からの今まで以上の支援が重要であり今後も期待する。

最後に、地球規模での自然災害の発生、国の政情不安や経済不況など社会情勢が目まぐるしく変化する中、教育環境の変化、特に子ども達を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。そのような中、町民一人一人が心豊かに活力に満ちた生活を送るためには、教育行政の充実強化に寄せる期待は大変大きいものがある。今後も、更によりよい事務事業評価にしていくために、自己評価であることを踏まえて数値による総括的な評価とともに実施状況等を詳しく記述されたものも貴重な評価となることを認識し、今後多いに活かされることを期待する。

また、自己評価から得た課題について前向きに捉え、実効性のある事業に取り組んでいただき、教育の充実・発展に存分に活かす施策の推進と、現場主義の尚一層の徹底・充実、児童・生徒の視点を重視し、町民の声に真摯に耳を傾け、より高い成果を実現することを期待し意見とする。

色麻町教育委員会事務事業点検評価委員

武	藤	とし子
高	橋	宣行
浅	野	孝幸

平成23年11月

評 価 者

色麻町教育委員会

学識経験者

委員長 児 玉 輝 夫

武 藤 とし子

委 員 佐々木 景 喜

高 橋 宣 行

委 員 小 川 泰 子

浅 野 孝 幸

委 員 竹 荒 典 子

教育長 菅 原 利 之